

福岡大学病院で実施されている人を対象とする医学系研究に関する情報公開

整理番号

15-3-14

研究課題名

悪性卵巣腫瘍におけるMT1-MMPとEphA2の発現解析

研究責任者

病理学

教授

鍋島 一樹

試料・情報の利用目的・方法

卵巣癌は早期診断が困難で発見時にはすでに進行例であることが多いです。また、初回治療が奏功しても、転移・再発例の予後は不良です。固形腫瘍の発育や浸潤・転移の増殖には腫瘍血管新生や接着因子や蛋白分解酵素、増殖因子等が重要であるといわれています。これらの一連の分子群の発現を抑制が癌の浸潤・転移・再発の抑制につながる可能性があります。近年、細胞膜に存在する増殖因子の受容体であるEphA2が卵巣癌の予後や血管新生等に関連があるという報告があり、その制御にマトリックスプロテアーゼ(MT1-MMP)が関連していることが報告されました。本研究では、このEphA2とMT1-MMPに着目し、実際に卵巣癌においてMT1-MMPやEphA2の働きを蛋白レベルで解析し、臨床病理学的事項との関連について、統計学的手法を用いて評価します。

研究期間： 開始日

承認日

～

2018/3/31

(予定終了日)

試料・情報の項目

卵巣癌外科切除標本病理組織、検査データ、診療録

試料・情報の管理責任者

研究責任者： 鍋島 一樹

利用する者の範囲

研究責任者及び研究責任者が指名した研究者(福岡大学内)

他の研究機関への試料・情報の提供先：

※ 研究対象者又はその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用又は他の研究機関への提供を停止しますので、下記へご連絡ください。

連絡先： 鍋島 一樹

電話番号：福岡大学病院(代表)092-801-1011

福岡大学病院 病院長